

## 後期日程

平成31年度入学試験問題（後期日程）

# 小論文

教育学部  
学校教育課程  
小中連携教育コース

### — 解答上の注意事項 —

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 問題冊子のほかに解答紙1枚と下書き用紙1枚がある。
- 3 解答は横書きとする。
- 4 解答紙を提出すること。
- 5 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

【問】下記の諸資料は、「学校の制服」に関する識者の見解や各地の学校における実践事例・調査結果を新聞記事から抜粋したものです。これらを踏まえて、学校の制服の教育的意義と問題点を指摘したうえで、学校の制服は今後いかにあるべきかについて、あなたの考えを800字以内で論じなさい。  
\*なお、本問における「制服」には、各学校が指定する標準服を含めるものとする。

【A】嶋原弘子氏(服飾専門家):毎日新聞2018年5月9日

警察官や客室乗務員などは制服を着ることで立場を示している。学校の制服も同様に、その学校の生徒として学びに行くことを示す。

学校の制服は女子の場合ネクタイもあればリボンもあり、襟の形も学校によって違う。ここまで細かくデザインが分かれているのは、学校のアイデンティティーを制服に重ねているからではないか。

まずは学校の先生に服育を知ってもらおうと、中学、高校の先生向けの講演会を行っている。その中で「制服をきちんと着ない生徒をどう指導したらいいか」と毎回のように質問される。スカート丈を短くしたり、腰でズボンをはいたりして着崩している生徒に注意して、逆に生徒から「なぜ制服を着なければいけないのか」と聞かれると、「決まりだから」としか答えられない。細かい校則があるのも、指定することでしか生徒を説得できないから。先生自身も衣服の役割を教わっていないから、「制服は立場を示し、その学校の生徒として着ているものだ」と説明できないのだと思う。

【B】保坂展人氏(東京都世田谷区長):毎日新聞2018年5月9日

世田谷区の小学校では制服を採用していない。中学校には標準服があるが、私の耳には、生徒や保護者から「私服を着たい」という声はほとんど聞こえてこない。保護者に聞くと、「制服があると楽だ」と言う。何を着せたらいいのかわからない、制服もそう安くはないけれど、トータルで見ると服装にかかる費用を抑えられる、という理由からだ。学校に限らず制服は、一体性を作り出すツールとして重用されているが、日本には制服を好む文化があると感じる。

制服を着ることによって生まれる秩序や、一体性は学校運営上、必要だという意見もある。それが永遠不変な価値なのかを考えるべきではないだろうか。高度経済成長時代や、校内暴力が多発した後には、「型にはめて同じくする」という強い指導が行われがちだった。中学・高校の生徒指導の先生が、新宿や渋谷を夜回りしていたが、放課後の行動は本来、保護者が責任を持つべきだろう。

画一的であれという力が過剰に働きすぎている気もする。今後、さらにグローバル化が進み、多様性の時代に変化する。自分の感受性を素直に表現し、率直に意見や主張を述べながら、自分と異なる他者の意見にも耳を傾けて互いに議論する。こうしたプロセスが、これからの教育には欠かせない。

【C】相浦孝行氏(制服販売会社社長):毎日新聞2018年5月9日

高校卒業後に東京の専門学校に進学し、就職のため新潟に戻ってから母校の制服が廃止されたことを知った。27歳で創業した婦人衣料品店にある日、母校の女子生徒が母親と一緒に買い物に来た。雑談の中で「制服がなくなってよかったね」と声をかけると、「私服だと大学生も高校生も変わらない。今しか着られない制服を着たい」という言葉が返ってきて驚いた。「高校生として輝くには制服は重要なアイテムだ」という彼女の言葉が印象的だった。

アニメや漫画の影響だと思うが、日本の制服は海外で人気がある。現在売り上げの約15%は海外の客で、年々増えている。これまでにフランスやイタリアなどで制服ファッションショーを行ったが、盛況だった。「スクールユニホーム」と説明すると、現地の人たちは「セイフク、セイフク」と口にする。それほど日本の制服は認知されていて、世界から注目される「文化」になっていると感じる。

【D】荻上チキ氏(評論家/ストップいじめ!ナビ  
代表理事):朝日新聞 2018年4月18日

「ブラック校則」のプロジェクトでは2月、10~50代の2千人に中学高校の校則体験を調査した。髪形やスカートの長さの校則はいったん減る傾向だったが、10代で軒並み増えたのは驚きだった。下着の色指定や整髪料禁止など、新たな管理項目が増えていることもうかがえた。

ソフトに立ち居振る舞いに介入する場面が増え、特に服装や髪形、行動を細かく縛ることで、かつて以上により“洗練された”管理教育が、全国で進んでいると感じた。

■中学・高校での校則体験

(上段数字は中学, 下段は高校)

|                 | 10代  | 20代  | 30代  | 40代  | 50代  |
|-----------------|------|------|------|------|------|
| 髪の毛の長さが決められている  | 26.6 | 16.7 | 13.7 | 32.0 | 25.4 |
|                 | 13.9 | 12.5 | 11.4 | 14.0 | 23.5 |
| スカートの長さが決められている | 57.0 | 38.1 | 23.7 | 40.4 | 34.7 |
|                 | 48.1 | 32.1 | 27.5 | 25.6 | 30.5 |
| 下着の色が決められている    | 15.8 | 4.8  | 1.9  | 3.2  | 0.9  |
|                 | 11.4 | 7.1  | 1.4  | 1.6  | 0.9  |
| チャイムの前に着席する     | 51.9 | 16.1 | 16.6 | 20.4 | 12.7 |
|                 | 26.6 | 9.5  | 10.0 | 8.4  | 10.8 |

[単位は%, 「ブラック校則をなくそう!プロジェクト」調べ]

※朝日新聞社に無断で転載することを禁止します 承諾番号19-4056

【E】福岡県那珂川町立福岡女子商業高校の実践例:朝日新聞 2016年10月16日

高校の例ですが、選択制を導入することにした学校もあります。

福岡県那珂川町の町立福岡女子商業高校は、来年度から私立に衣替えするのにあわせ、スカートとズボン、リボンとネクタイから選べるようにします。どちらか片方だけ使ってもいいし、両方買って気分や気候で使い分けすることもできます。

柴田晴夫校長が地域の人権研修で性的少数者[註]について学び、「当たり前だと思っていたことを見直す必要がある」と感じたのがきっかけでした。もともと、自転車通学をしている生徒がスカートの下にジャージーをはいているのが気になって、「ズボンの方が動きやすいのではないか」と感じていたそうです。

私服にすることも考えましたが、「学校アイデンティティーのためには制服が必要」と、制服は残して選択制にすることにしました。柴田さんは「女性はスカートと画一的に決めるのはおかしい。性的少数者かどうかに関わりなく、自由に選んでほしい」と話しています。

[註]性的少数者——トランスジェンダー等、身体の性別に違和感のある人などのこと。(出題者註)

※朝日新聞社に無断で転載することを禁止します 承諾番号19-4056

【F】東京都立南多摩中等教育学校の実践例:読売新聞 2013年7月13日

訪ねたのは、東京都八王子市にある都立南多摩中等教育学校です。6年制で、それぞれ中学、高校に相当する前期課程の3学年と、後期課程のうち1期生の4年生が通っています。2, 3年生が在籍する南多摩高は、2年生卒業後、2015年度に中等教育学校へ完全移行します。

中等教育学校の前期生、後期生、南多摩高生の制服は別々で、後期生は青色を基調としたさわやかなデザインが目印。クラス代表の制服検討委員が入学した1年のときから、同期生へのアンケートや話し合いを重ねて決めました。

夏服は、男女ともワイシャツが白と青の2種類。女子には大きめのリボンもあります。スカートはチェック柄で、丈はひざ頭の上3センチ・メートルとなっています。

制服検討委員が時間をかけて話し合ったのは、スカートの長さについてでした。先生方が決めた前期用スカートは、「長めなので、この長さだと、短くする生徒が出るだろう」と意見が出ました。南多摩高の「ヒザの真ん中から上下それぞれ8センチ・メートルの範囲」とされている丈に対しては、男子から「短すぎる」といった声が上がりました。

校則作りを担当する内藤義弘先生は「着用したとき、周りからどう見えるかにも配慮してまとめた内容を尊重し、最終的に教職員が決めました。着用が始まって3か月がたちましたが、今のところルールは守られている」と話しています。

\* 上の諸資料は、出題に際して、各紙の記事より一部を抜粋し、文章を再構成している。